

アンケート調査結果報告書【ダイジェスト版】

市民の皆さんにご協力いただいた「まちづくりに関するアンケート」の調査結果がまとまりました。

この調査は、平成21年、平成24年、平成26年に実施した「市民の声」アンケートを継承するもので、本市のまちづくりの最上位計画「第2次南魚沼市総合計画」の点検・見直しとともに、これからのまちづくりに役立てることを目的として実施したものです。

【調査の概要】

調査対象	満20歳以上の市民 2,500人（男女各 1,250人）
抽出方法	令和元年6月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送法
調査期間	令和元年7月5日（金）～7月31日（水）
有効回収数（n）	1,197人（有効回収率 47.9%）

【集計・分析方法と見方】

○集計結果における構成比率（%）の数値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、表示している数値の合計が100.0%にならない場合があります。

○文章中では、平成26年調査を「前回」、平成24年調査を「前々回」、これらを合わせて「過去2回」と示しています。

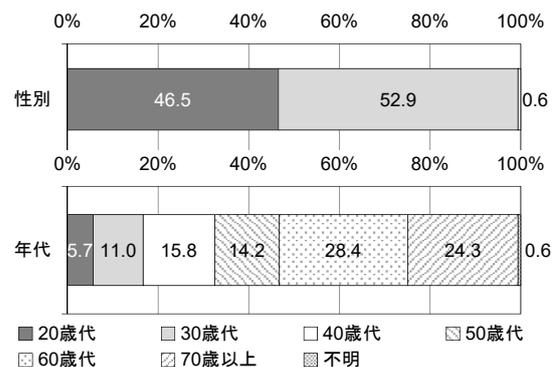
○図表の中で「n」で示される数値は、各質問への回答者数を示し、構成比率（%）を算出するための母数となります。

○各調査の「n」は、特に示していない場合、本調査 1,197人、平成26年調査（前回） 1,029人、平成24年調査（前々回） 1,121人、平成21年調査 1,009人です。

【回答者の属性】

○男性 46.5%、女性 52.9%

○60歳代（28.4%）が約3割で最も多く、次いで70歳以上（24.3%）が2割以上、40歳代（15.8%）、50歳代（14.2%）、30歳代（11.0%）がそれぞれ1割以上

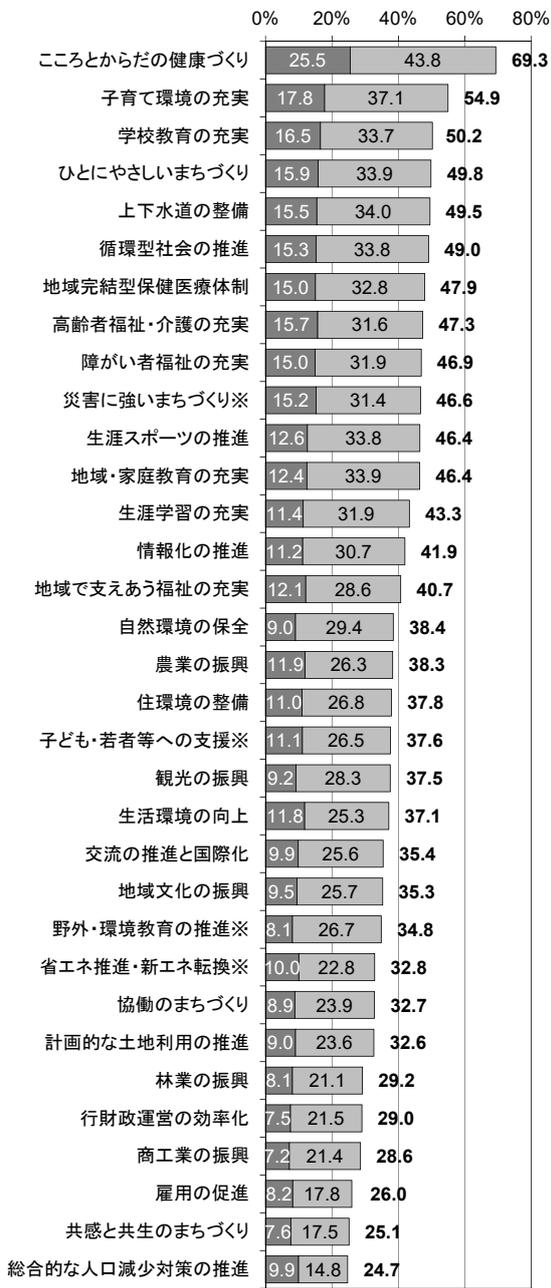


1 まちづくりの現状評価と今後取り組むべきこと

- ①まちづくりの取組が進められていると思いますか。
- ②今後力を入れて取り組むべきことはどれですか。

①まちづくりの現状評価

●「**こころとからだの健康づくり**」が最も高く、「**総合的な人口減少対策**」が最も低い



■ そう思う □ どちらかというと思う

②今後力を入れて取り組むべきこと

●「**総合的な人口減少対策**」が最も高く、「**高齢者福祉・介護**」「**ひとにやさしいまち**」も高い



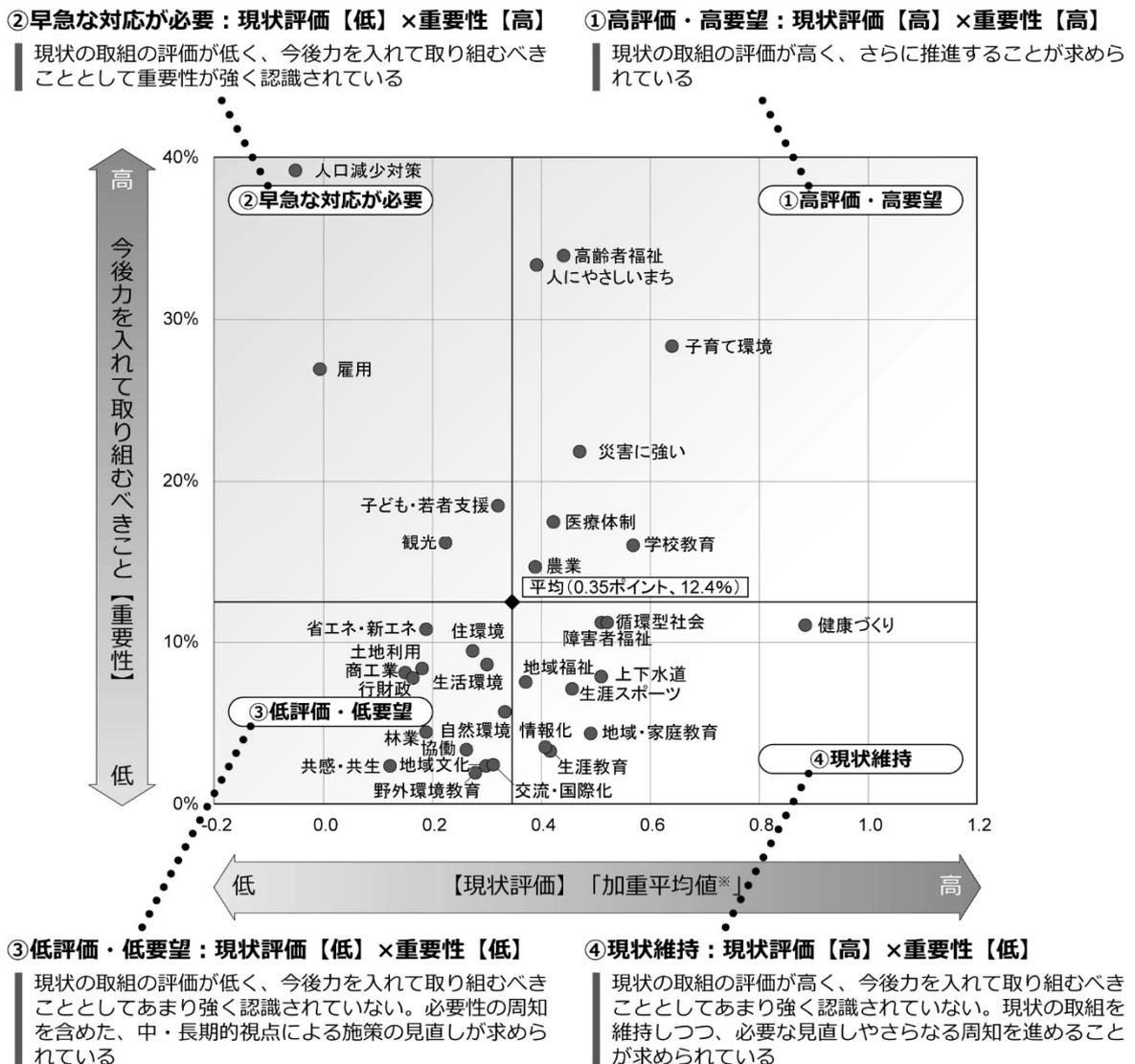
(5つまで選択)

※名称の一部を省略して表示している項目があります。特に※印の項目は調査票ではそれぞれ以下のとおり表示しています。
 災害に強いまちづくり→災害に強い安全と安心のまちづくり、子ども・若者等への支援→子ども・若者やその家族への支援の充実、
 野外・環境教育の推進→地域に根ざした野外・環境教育の推進、省エネ・新エネ転換→省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換

○「①まちづくりの現状評価」について、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値『思う』を見ると、「こことからだの健康づくりの推進」(69.3%)が約7割で最も高く、次いで「子育て環境の充実」(54.9%)、「学校教育の充実」(50.2%)の2項目がそれぞれ5割以上
一方、「総合的な人口減少対策の推進」(24.7%)が最も低い

○「②今後力を入れて取り組むべきこと」(重要性)を見ると、「総合的な人口減少対策の推進」(39.2%)が約4割で最も高く、次いで「高齢者福祉・介護の充実」(33.9%)、「ひとにやさしいまちづくり」(33.3%)の2項目がそれぞれ3割以上
一方、「地域に根ざした野外・環境教育の推進」(1.9%)が最も低い

「①まちづくりの現状評価」と「②今後力を入れて取り組むべきこと」(重要性)を組み合わせると、下図のように分類できます。



※加重平均値：「そう思う」に+2点、「どちらかというと思う」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかというと思う」に-1点、「そう思わない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられます

2 市民サービスの評価

南魚沼市の住民サービスについてどう思いますか。

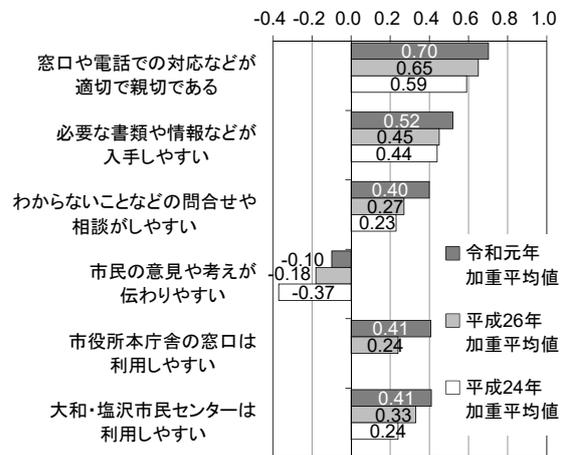
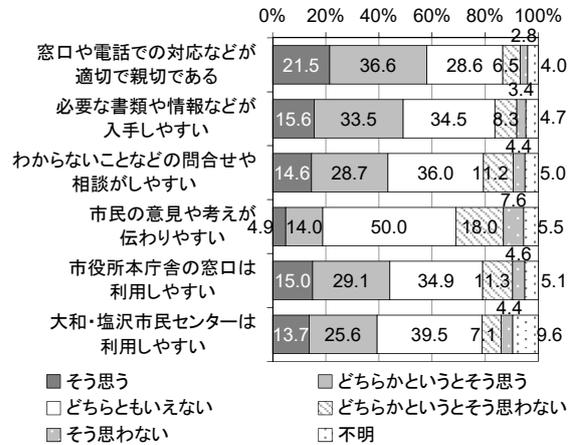
- 「窓口や電話での対応などが適切で親切」の評価が最も高い
- 「市民の意見や考えが伝わりやすい」の評価が最も低い
- すべての項目の評価が高くなる傾向

○ 「思う」「どちらかというと思う」の合計値『思う』を見ると、「窓口や電話での対応などが適切で親切である」(58.1%) が約6割で最も高い

○ 次いで「必要な書類や情報などが入手しやすい」(49.1%)、「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」(44.1%)、「わからないことなどの問合せや相談がしやすい」(43.3%)、「大和・塩沢市民センターは利用しやすい」(39.3%)

○ 一方、「市民の意見や考えが伝わりやすい」(18.9%) は2割未満で最も低い

○ 各項目の加重平均値※を見ると、いずれの項目も評価が高くなる傾向が見られ、その中でも「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」(前回0.24ポイント)は前回より0.17ポイント高い



※加重平均値: 「思う」に+2点、「どちらかというと思う」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかというと思う」に-1点、「そう思わない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価と考えられます

3 市政への関心

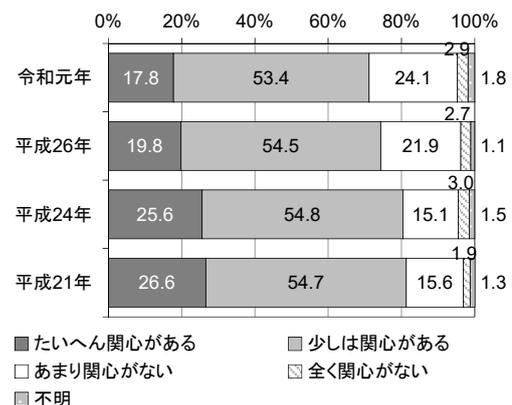
市政に関心がありますか。

- 「関心がある」は7割以上だが、関心度は低下傾向

○ 「少しは関心がある」(53.4%) が5割以上で最も高く、次いで「あまり関心がない」(24.1%)、「たいへん関心がある」(17.8%)

○ 「たいへん関心がある」「少しは関心がある」の合計値『関心がある』(71.2%) は7割以上

○ 過去3回の調査と比較すると、合計値『関心がある』は、前回(74.3%)や前々回(80.4%)より低くなる傾向

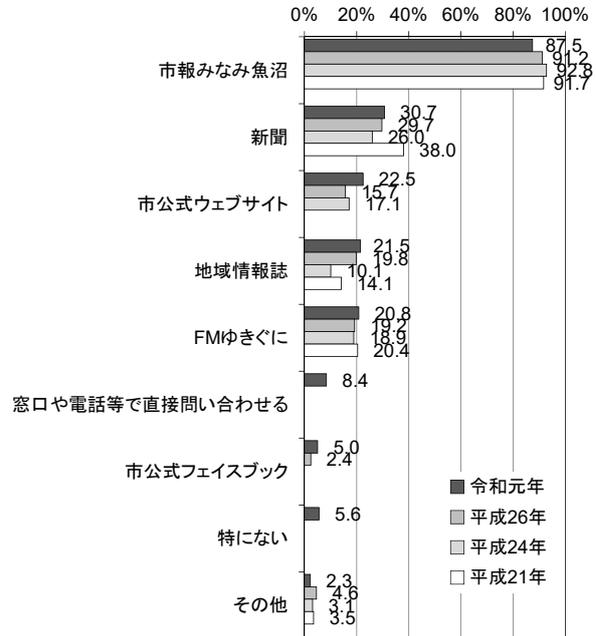


4 市政情報の入手方法

市政に関する情報を何から得ていますか。(すべて選択)

- 市政情報の入手元は「市報みなみ魚沼」が約9割
- 過去3回の調査と比較して大きな変化は見られない

- 「市報みなみ魚沼」(87.5%)が約9割で特に高く、次いで「新聞」(30.7%)、が3割以上、「市公式ウェブサイト」(22.5%)、「地域情報誌」(21.5%)、「FMゆきぐに」(20.8%)の3項目がそれぞれ2割以上
- 一方、新たに設けた項目「窓口や電話等で直接問い合わせる」(8.4%)、「特にない」(5.6%)はいずれも1割未満
- 過去3回の調査と比較すると、大きな変化は見られないが、その中で「市公式ウェブサイト」は前回(15.7%)より約7ポイント高い

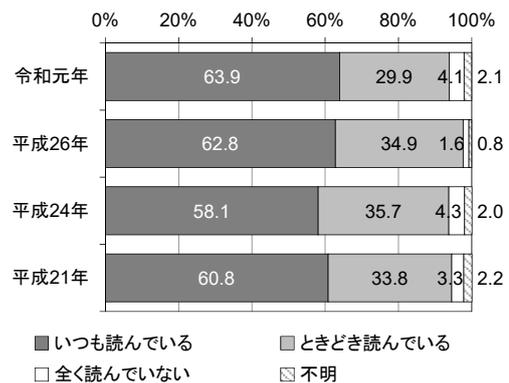


5 「市報みなみ魚沼」の評価

- ①「市報みなみ魚沼」を読んでいますか。
- ②「市報みなみ魚沼」についてどう感じていますか。

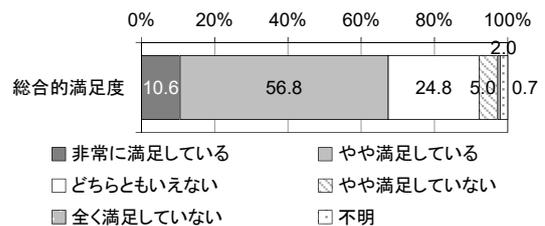
- 「読んでいる」が9割以上
- 過去3回の調査と比較して大きな変化は見られない

- 「いつも読んでいる」(63.9%)が6割以上で最も高く、次いで高い「ときどき読んでいる」(29.9%)との合計値『読んでいる』(93.8%)は9割以上
- 過去3回の調査と比較すると、大きな変化は見られない



- 総合的には「満足している」が約7割

- 総合的満足度は「やや満足している」(56.8%)が約6割で最も高く、次いで「どちらともいえない」(24.8%)が2割以上
- 「非常に満足している」「やや満足している」の合計値『満足している』(67.4%)は約7割



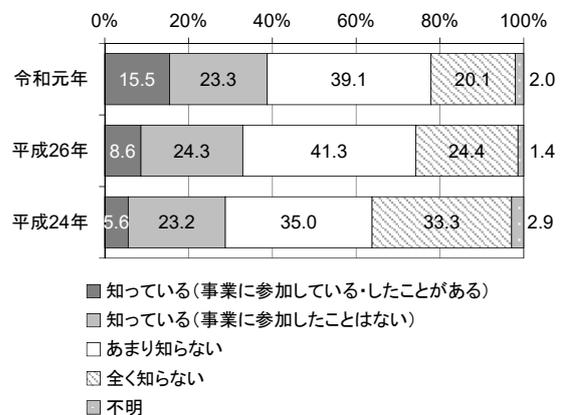
※「総合的満足度」のほかに、「読みやすさ」「必要な情報を得ることができるか」「情報量の多さ」「現在月2回の発行回数」の4項目について評価する質問を設定

6 地域づくり協議会の認知度

「地域づくり協議会」を知っていますか。

- 「知っている」が約4割、「知らない」が約6割
- 認知度は高くなる傾向

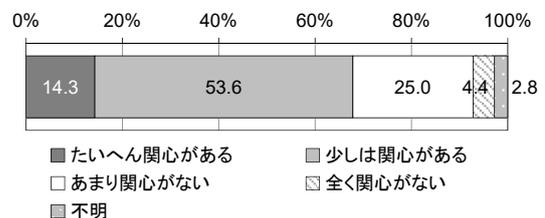
- 「あまり知らない」(39.1%)が約4割で最も高く、次いで「知っている(事業に参加したことはない)」(23.3%)、「全く知らない」(20.1%)がそれぞれ2割以上
- 「あまり知らない」「全く知らない」の合計値『知らない』(59.2%)は約6割、「知っている(事業に参加している・したことがある)」(15.5%)「知っている(事業に参加したことはない)」の合計値『知っている』(38.8%)は約4割
- 過去2回の調査と比較すると、合計値『知っている』は、前回(32.9%)や前々回(28.8%)より高くなる傾向



7 地域づくり活動への関心度

行政区や地域での行事や地域づくり活動に関心がありますか。

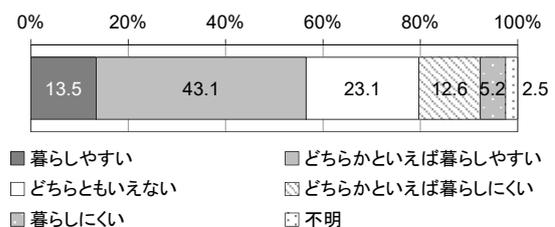
- 「関心がある」が約7割
- 「少しは関心がある」(53.6%)が5割以上で最も高く、次いで「あまり関心がない」(25.0%)が2割以上、「たいへん関心がある」(13.4%)が1割以上
- 「たいへん関心がある」「少しは関心がある」の合計値『関心がある』(67.9%)は約7割



8 南魚沼市の暮らし

南魚沼市は暮らしやすいと思いますか。

- 「暮らしやすい」が約6割、「暮らしにくい」が約2割
- 「どちらかといえば暮らしやすい」(43.1%)が4割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.1%)が2割以上
- 「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」の合計値『暮らしやすい』(56.6%)は約6割、「暮らしにくい」「どちらかといえば暮らしにくい」の合計値『暮らしにくい』(17.8%)は約2割

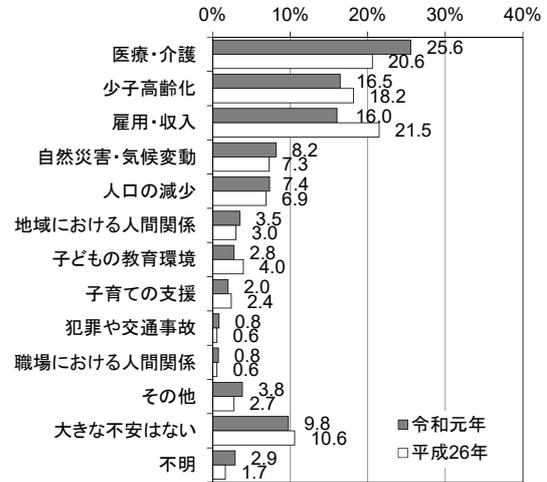


9 暮らしにくさや不安

南魚沼市で暮らす上で、暮らしにくさや不安を感じることがありますか。

- 「医療・介護」が2割以上、次いで「少子高齢化」「雇用・収入」がそれぞれ1割以上
- 前回より「医療・介護」は若干高く、「雇用・収入」は若干低い

- 「医療・介護」(25.6%)が2割以上で最も高く、次いで「少子高齢化」(16.5%)、「雇用・収入」(16.0%)の2項目が1割以上で同程度
- 一方、「大きな不安はない」(9.8%)は約1割
- 前回と比較すると、「医療・介護」(前回20.6%)が5ポイント高い一方、前回最も高い「雇用・収入」(前回21.5%)は5ポイント以上低い

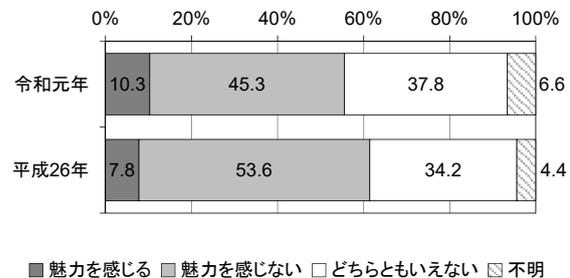


10 働く環境としての南魚沼市の魅力

- ①働く環境として、南魚沼市に魅力を感じますか。
- ②魅力を感じる理由・感じない理由は何ですか。

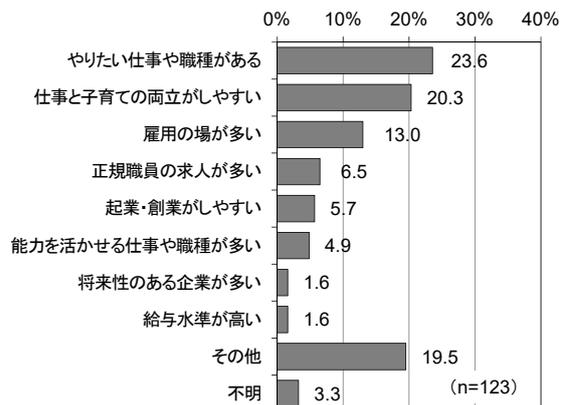
- 「魅力を感じない」が4割以上、「魅力を感じる」が1割以上
- 「魅力を感じない」は前回より若干低下

- 「魅力を感じない」(45.3%)が4割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(37.8%)が約4割、「魅力を感じる」(10.3%)が1割以上
- 前回と比較すると、「魅力を感じない」(前回53.6%)が約10ポイント低くなる一方、「魅力を感じる」(前回7.8%)、「どちらともいえない」(前回34.2%)が若干高い



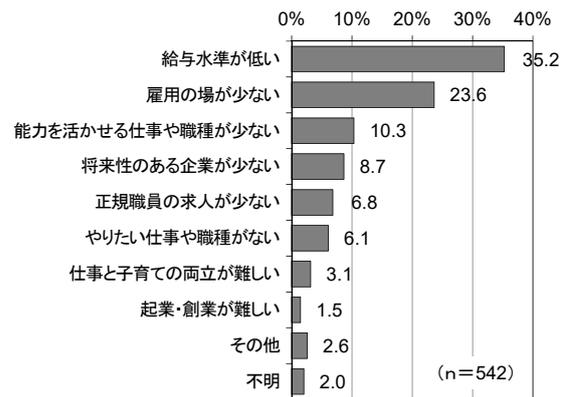
- 「魅力を感じる理由」は「やりたい仕事や職種がある」「仕事と子育ての両立がしやすい」がそれぞれ2割以上、次いで「雇用の場が多い」が1割以上

- 「魅力を感じる理由」は、「やりたい仕事や職種がある」(23.6%)、「仕事と子育ての両立がしやすい」(20.3%)の2項目が2割以上、次いで「雇用の場が多い」(13.0%)が1割以上
- 「その他」の具体的記述内容は、自然環境(4件)、人間関係(4件)など



●「魅力を感じない理由」は「給与水準が低い」が3割以上、次いで「雇用の場が少ない」が2割以上

- 「魅力を感じない理由」は、「給与水準が低い」(35.2%)が3割以上で最も高く、次いで「雇用の場が少ない」(23.6%)が2割以上
- 「その他」の具体的記述内容は、買い物や交通などの暮らしにくさ(4件)など

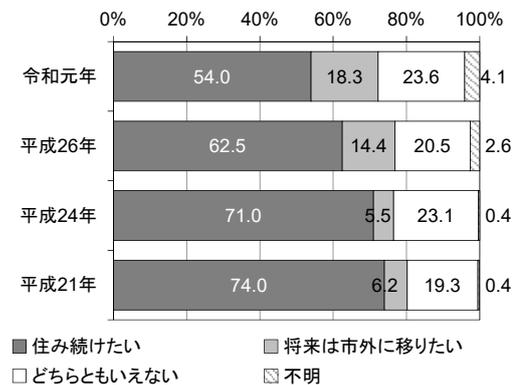


11 定住意識

南魚沼市に住み続けたいと思いますか。

- 「住み続けたい」が5割以上、「将来は市外に移りたい」が約2割
- 「住み続けたい」が低くなり、「将来は市外に移りたい」が高くなる傾向

- 「住み続けたい」(54.0%)が5割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.6%)が2割以上、「将来は市外に移りたい」(18.3%)が約2割
- 過去3回の調査と比較*すると、「住み続けたい」が低くなる一方、「将来は市外に移りたい」が高くなる傾向



*「将来は市外に移りたい」は平成26年までは「南魚沼市外に移りたい」として設定するなど、過去3回の調査とは表現の異なる項目があります

12 自由記述

- ①南魚沼市の魅力や誇りを「ひと言」で
- ②南魚沼市への意見・感想

- ①南魚沼市の魅力や誇りについての「ひと言」は、「自然」や「四季」、「雪」、「米(コシヒカリ)」や「食」、「酒」、「人(情・柄)」、「(都心からの)交通の便」など、約730件が寄せられました。
- ②南魚沼市への意見・感想として、550件以上が寄せられました。
これらの貴重な「市民の声」をこれからの南魚沼市のまちづくりに役立てていきます。

まちづくりに関するアンケート調査結果報告書(ダイジェスト版)

【作成】令和元年11月/南魚沼市 総務部 企画政策課 企画班 電話 025-773-6672